

## 関係者ヒアリング結果まとめ【概要版】

## 1 どのような認知症サポーターになってほしいですか？

- ・自分の話を聞いてくれる専門的な人が欲しい。ケアマネに相談するのは申し訳なく思う。(本人)
- ・こちらの話に耳を傾けてくれるなど、思いを受けとめてくれる人が欲しい。(本人)
- ・相手の自尊心を傷つけず付き合っている人(家族)
- ・認知症を自分ごとと感じている人(家族)
- ・安心して暮らせる地域を作る事で自分が認知症になってもその地域で暮らせると考えられる人(家族)
- ・認知症になっても役割を見つけていけるとよい。そういう視点をもって支援できる人を多く育てられるとよい。(包括)
- ・ステップアップ研修を修了したら、サポーター(パートナー)クラブなどとして、自主的な組織として活動してほしい。受講者は意識の高い人が集まると考えられる。行政が全部できるわけではなく、地域包括ケアを考える上では、地域人材の活用が不可欠。(その他)

## 2 サポーターにどんなことを学んでほしいですか？

※本人には、「サポーターと一緒にやりたいことは？」

- ・本人の「できるところ」を見るようになってほしい(本人)
- ・よく知りもしない人と散歩するのは抵抗がある。(信頼関係を築くことが大事)(本人)
- ・基本的な対応の仕方。言ってはいけない、してはいけないことなどを学んでほしい。(家族)
- ・医学が中心ではない、社会モデルや生活モデルを理解してほしい。感性をどう育てるか。(その他)
- ・認知症の方に、どんな支援・どんな対応をしたか等の「事例紹介」があった方がいい。(その他)
- ・ステップアップ研修では、「おさらい」の意味ももたせて再度、基礎知識の確認(その他)

## 3 テキストワーキングのメンバーには、どんな方々に参加してもらいたい？

- ・学生をメンバーに入れることは良いと思う。若い目から見て、外から見てどう思うかの声的大事。
- ・ワーキングで形をまとめるというよりも、たくさんの声を聞くことが重要。
- ・包括職員は、今まで参加していないところに参加してもらいたい。

## 4 (当事者・家族) ケアパスの使い勝手

- ・個人版ケアパスについて、そういうものがあることを知らない方も多いのではないか。
- ・銀行・郵便局・コンビニ、あるいはフリーペーパー等でも周知した方がいいのではないか。今は、ケアパスの存在は、元々認知症のことが分かっている方しか知らないのでは。
- ・個人版ケアパスを読むと、皆ハツとしている。ピアサポートにつながる流れができています。